

1 調査の目的

本調査は、「富士市の将来」・「生物多様性」について、市民の意識・評価・要望などを把握することを目的とした。

2 調査の内容

「富士市の将来」・「生物多様性」について

3 調査の設計

- (1) 調査地域 富士市全域
- (2) 調査対象 富士市在住の満 18 歳以上 80 歳未満の男女
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送調査
- (6) 調査期間 平成 30 年 6 月 12 日～7 月 17 日
- (7) 調査機関 (株)サーベイリサーチセンター静岡事務所

4 回収結果

- (1) 発送数 3,000 人 (100.0%)
- (2) 回収数 1,658 人 (55.3%)
- (3) 有効回収数 1,654 人 (55.1%)

※有効回収数は、回収したが記入のない（または少ない）調査票を除いて集計した数。

5 地区別回収率

居住地区	発送数（人）	有効回収数（人）	回収率（％）
吉原	128	75	58.6%
伝法	133	80	60.2%
今泉	158	111	70.3%
神戸	44	23	52.3%
広見	161	82	50.9%
青葉台	130	46	35.4%
大淵	137	89	65.0%
富士見台	63	37	58.7%
原田	83	44	53.0%
吉永	98	55	56.1%
吉永北	25	14	56.0%
須津	135	79	58.5%
浮島	19	7	36.8%
元吉原	94	48	51.1%
富士駅北	157	66	42.0%
富士北	107	79	73.8%
富士駅南	139	85	61.2%
田子浦	172	88	51.2%
富士南	227	120	52.9%
岩松	111	76	68.5%
岩松北	110	43	39.1%
鷹岡	147	88	59.9%
丘	163	66	40.5%
天間	81	33	40.7%
富士川	109	70	64.2%
松野	67	35	52.2%
わからない	-	2	-
他	2	-	-
無回答	-	13	-
合 計	3,000	1,654	55.1%

6 報告書を読む際の注意事項

- 1 各設問の表の中や欄外に記載した回答割合の比率はすべて百分比であらわし、小数点以下第2位を四捨五入している。このため百分比の合計が100%にならないことがある。
- 2 基数となるべき調査数は、nまたは調査数と表示しており、回答比率はこれを100%として算出した。
- 3 1つの質問に2つ以上回答できる設問の場合は、百分比の合計が100.0%を超える場合がある。
- 4 選択肢の文章が長い場合、グラフ上では省略して表記していることがある。
- 5 分析の軸として用いたライフステージは、次のように分類している。

独身期	18～39歳の未婚者
家族形成期	第一子が未就学児、または40歳未満の夫妻のみ
家族成長前期	第一子が小・中学生
家族成長後期	第一子が高校生・予備校生・大学受験生・短大・高専・大学・大学院・専門学校などの学生
家族成熟期	第一子が学校教育終了
老齢期	60歳以上の人

※ 家族形成期～家族成熟期の子どもがいる人は、いずれも60歳未満の人とした。40代・50代の未婚者、40代・50代の夫妻のみなど、分類されていない層がある。

6 この調査は、無作為抽出により対象者を抽出したので、標本誤差は次式で近似できる。

$$\varepsilon = 2 \sqrt{\frac{P(1-P)}{n}}$$

ε : 標本誤差
 n : 標本の大きさ
 P : 回答比率

回答者総数（1,654人）を100%とする質問で、ある回答選択肢に対する回答比率が50%であるとする、母集団（18歳以上80歳未満の富士市民全体）の回答比率は47.5%～52.5%の間であると推定される。

回答比率	標本誤差
50%	±2.5%
60%または40%	±2.4%
70%または30%	±2.3%
80%または20%	±2.0%
90%または10%	±1.5%